



Y u s u k e S h i m i z u

清 水 勇 佑

建 築 家 ・ 建 築 評 論 家

一 般 社 団 法 人 国 際 建 築 設 計 機 構
G A D - O 代 表 理 事

Y u s u k e S h i m i z u

清 水 勇 佑

建 築 家 ・ 建 築 評 論 家

一 般 社 団 法 人 国 際 建 築 設 計 機 構
G A D - O 代 表 理 事

1998 日本の東京で生まれ育つ

2017 日本大学 理工学部 建築学科 入学

2020 任意団体 KENKOMI を設立

2021 WASA世界建築学生賞 審査員長 就任

2021 日本大学 理工学部 建築学科 卒業

2023 日本大学大学院 理工学研究科 建築学専攻 修了

2023 KKAA 隈研吾建築都市設計事務所 入社

2025 GAD-O 一般社団法人 国際建築設計組織 を設立 代表理事



1. 学生時代について

建築デザインは非常に奥深く、多層的であり、一生をかけても完全に理解できないほど広大な世界である。著者の学生時代は、建築を通して自分自身を探求する期間であり、強い野心と行動力によって学び続ける時間だった。

当時の最大の目標は「**建築デザインで最も優れた人間になること**」であり、設計課題やコンペでの最優秀を常に目指して努力を重ねた。

一方で大学の設計教育では作品が順位付けされる競争環境があり、教授たちによる評価が行われていたが、**審査内容や順位付けには納得できなかった**。建築デザインは多角的であり、絶対的な優劣を決めることは本来不可能であるにもかかわらず、人は「最優秀」を決めようとする。この矛盾こそが、建築デザインを探求する強い動機になった。

←研究室に自室を造り建築に没頭。



2. 組織の設立

学部2年で、建築デザインや設計ノウハウを純粹に追及する為、2つの学生組織を設立。

2020 日本大学建築デザインサークル [学内200名]

2020 SA Group 日本大学清水意匠設計グループ

学部3年で、情報化社会における次世代の建築家像の可能性に気づく。

建築デザインやコミュニティのプラットフォームの形成の為、KENKOMIを設立。

2021 KENKOMI.JAPAN 国際建築学生団体 [世界中の建築学生600名以上]

教授や建築家の主観的恣意的な評価によらない、定量評価型の評価システムを開発し

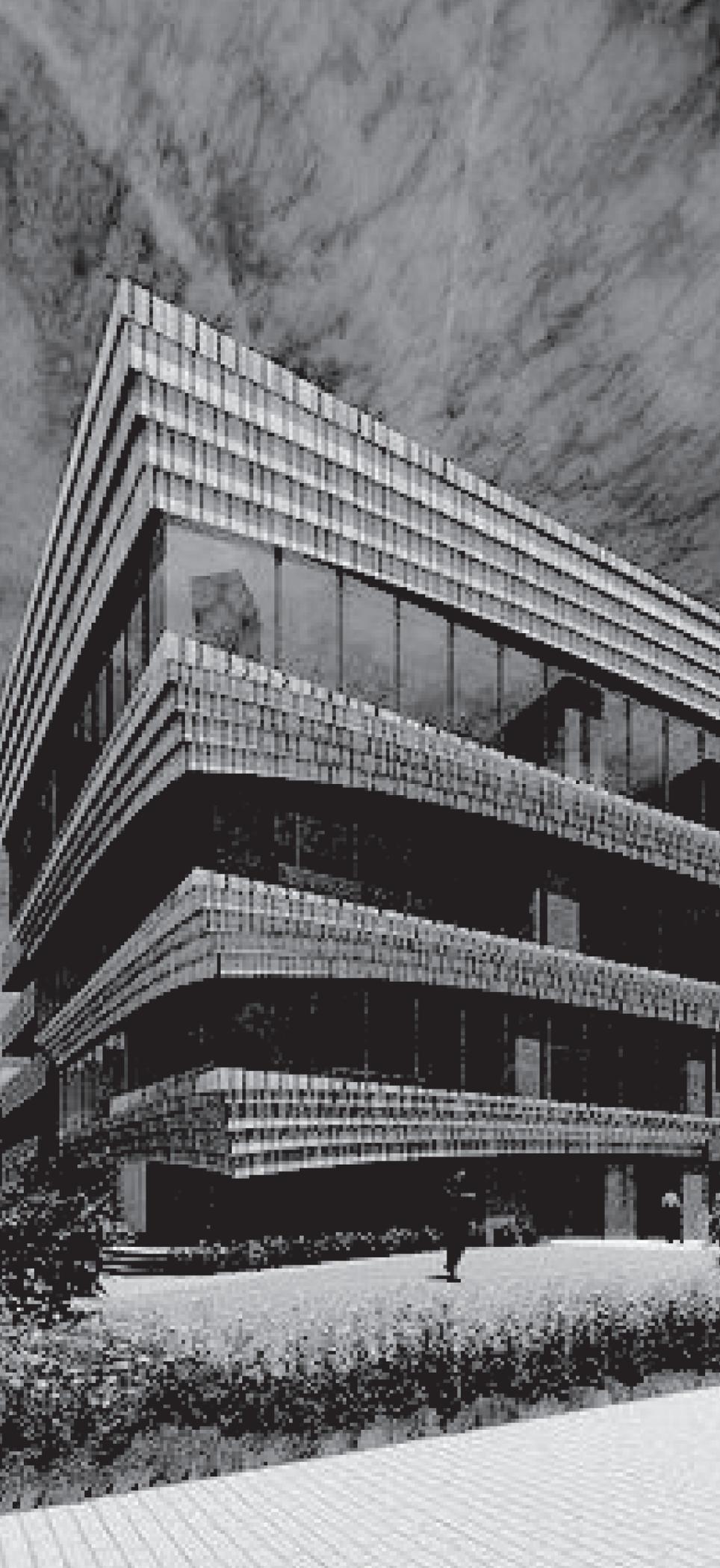
国内外のコンペを主催し審査員長を務める。自分の思想を形に起こした。

2021 NASA 全国建築学生賞実行委員会

2022 WASA 世界建築学生賞実行委員会

その他、多数の学生組織、設計事務所に所属しコミュニティを広げた。

←WASA 世界建築学生賞の毎年1000作品以上を審査



3. スターアーキテクトでの下積み

次世代を代表する建築家となるため、現代を代表する建築家である隈研吾建築都市設計事務所に入社した。思想に興味はなく、現代においてなぜスターアーキテクトになったのかを知ることにあつた。世界トップクラスの実務を経験し、最も早く高質なノウハウを身に着けることも目的の一つであつた。

2023 都内児童施設 7000㎡ 60億円規模の基本設計・実施設計を主任。

2024 都内観光施設再開発 2000億円規模の基本構想・基本設計を担当。

2025 沖縄県リゾート施設再開発の基本構想を主任。AI画像生成を導入。

2025 都内学校施設 2000㎡ 40億円規模の基本設計・実施設計を主任。

建築家の職能が衰退しているわけではなく、情報社会が発展している。

誰にでもデザインは容易に生成でき、共有され、閲覧できる現代で、面白いデザインを考えるだけでは、建築家は生き残れない時代となった。

実際、ここ数年で、建築家とその他の組織事務所のデザインの境界は、ほとんどなくなってきた。

←2023 都内児童施設

2025 GAD-O(Global Architectural Design Organization) を設立した。

世界中の建築デザインを収集し、多次元的に統合することで、建築デザインや設計プロセスのパターンを解明し、客観的なデザイン基盤を構築する。

この基盤により、個々の建築デザインが建築全体の中でどこに位置するのかを、多次元かつ定量的に定義することが可能となる。

※建築家の課題 建築家が感覚のみでデザインする時代は、すでに終わりつつある。論理的に考えたとしても、その判断が個人の経験や価値観に依存する限り、恣意的な主観から完全に離れることはできない。

※AIの課題 AIについても同様である。操作主体は人間であり、入力データ、プロンプト、学習モデルの設計に人間の意図が介在する以上、デザインを感覚的領域から完全に切り離すことはできない。

これからの時代に求められるのは、単に新しい形をつくることではない。

デザインの背後にある構造や思考プロセスを詳細に可視化し、表現できることこそが、次世代を代表する建築家の理論であり、方法論であると考えている。



G A D - O [ガド]

一般社団法人 国際建築設計機構

Global Architectural Design Organization

G A D - O [ガド]

一般社団法人 国際建築設計機構

Global Architectural Design Organization

■ 法人番号 70100-0504-0471

■ 形態 非営利型 一般社団法人

■ 所在地 東京都文京区関口 1-15-1 ミサオビル 5階

■ 設立年月 2025年 8月 21日

■ 運用開始 2026年 4月 1日

■ 事業内容

- (1) 建築設計評価モデルの開発及び運用事業
- (2) 建築デザインに関する認定証の発行事業
- (3) 建築デザインに関する建築賞の運営事業
- (4) デザイン監修事業
- (5) 国際建築設計評価図書の発行事業

G A D - O 背景・課題

現代の建築設計は、インターネットと情報技術の発展により、世界中の事例やデザインが瞬時に共有される時代になりました。

さらに、AIの発達により建築家の職能が問われています。

現在の建築設計及び評価には、建築家とAI両方ともに課題があります。

【建築家の課題】

建築家による設計[デザイン]や評価は、個人の美学や経験に強く依存し、共感できない。

情報社会において、独自性を担保することが難しくなっている。。

【AIの課題】

生成AIは結果を出力するが、思考プロセスが見えずブラックボックスとなってしまう。

複雑な処理が可能だが、建築デザインの面白さは感じられない。

G A D - O に よ る 解 決

GAD-O(Global Architectural Design Organization) は、

世界中の建築デザインおよびその思考プロセスを収集し、多次的に分析・体系化・可視化するデザイン基盤 GAAS を開発する。
建築デザインを中心に、建築設計、建築審査、建築教育を相互にネットワークし、新しい知識基盤を構築する 国際的研究機関である。

【建築家の課題】~~—————~~ への応答

建築家による設計[デザイン] や評価は、個人の美学や経験に強く依存し、共感できない。

情報社会において、独自性を担保することが難しくなっている。

→多次的に構築したデザイン基盤の中に位置づけ、客観的な視点を追加する。

【AIの課題】~~—————~~ への応答

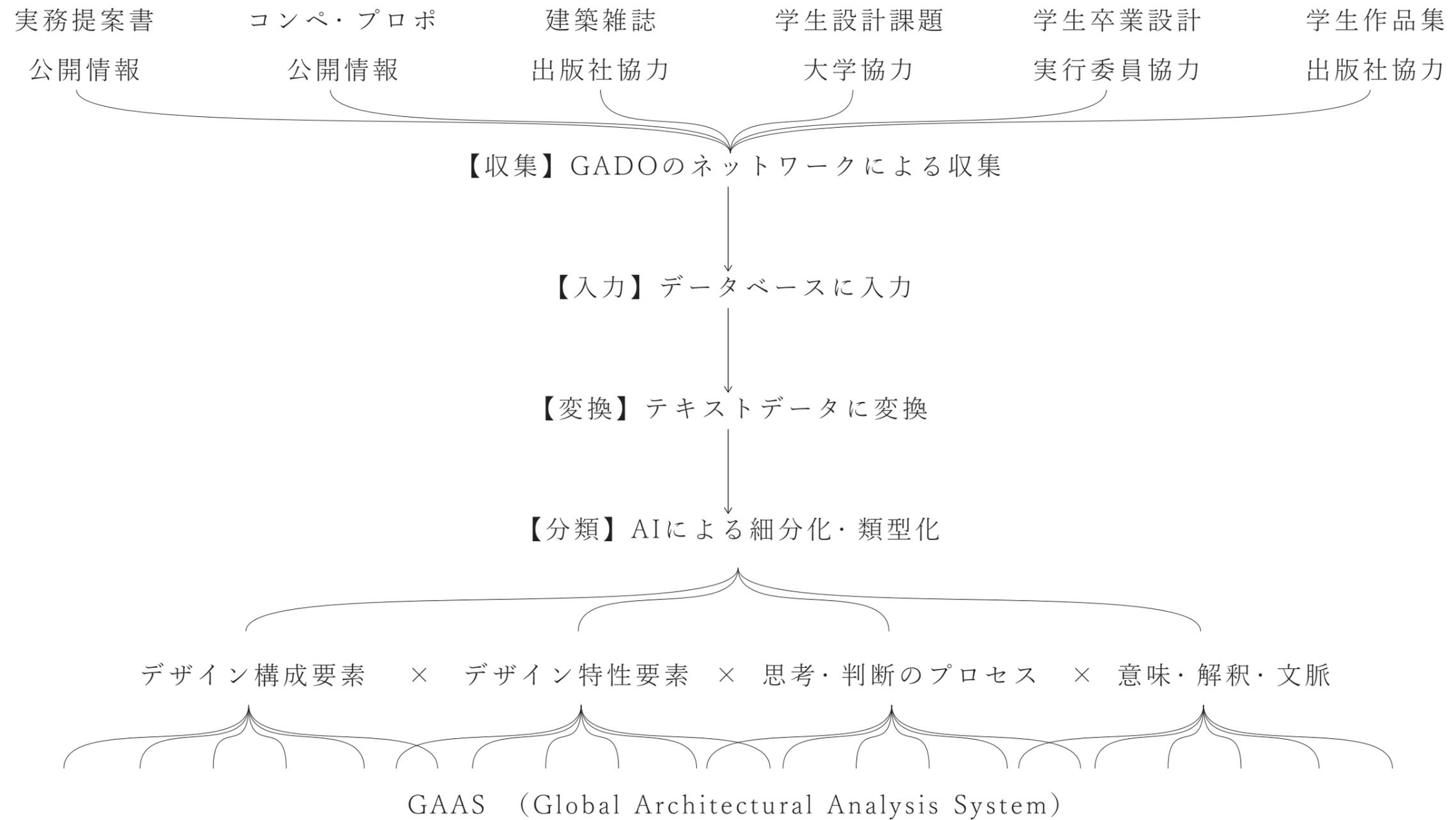
生成 AIは結果を出力するが、思考プロセスが見えずブラックボックスとなってしまう。

複雑な処理が可能だが、建築デザインの面白さは感じられない。

→世界中のデザインや思考を多次的に一つに統合するデザイン基盤は、デザインの本質であるプロセスを可視化する。

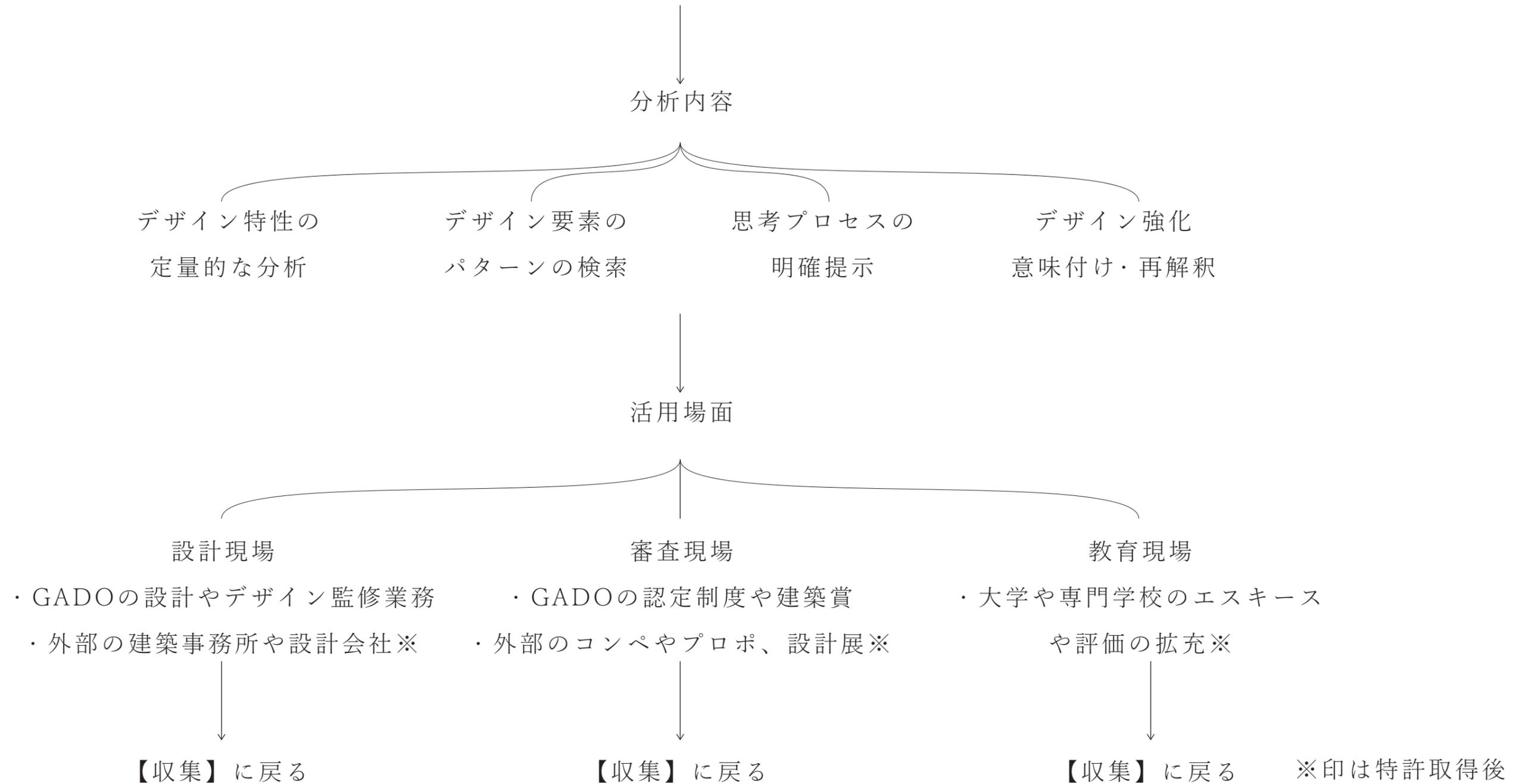
GAAS の 開 発

GAAS(Global Architectural Analysis System) は、
世界中の建築デザインおよびその思考プロセスを収集し、多次元的に分析・体系化・可視化するデザイン基盤 です。



G A A S の 開 発

GAAS(Global Architectural Analysis System) は、
世界中の建築デザインおよびその思考プロセスを収集し、多角的に分析・体系化・可視化するデザイン基盤です。

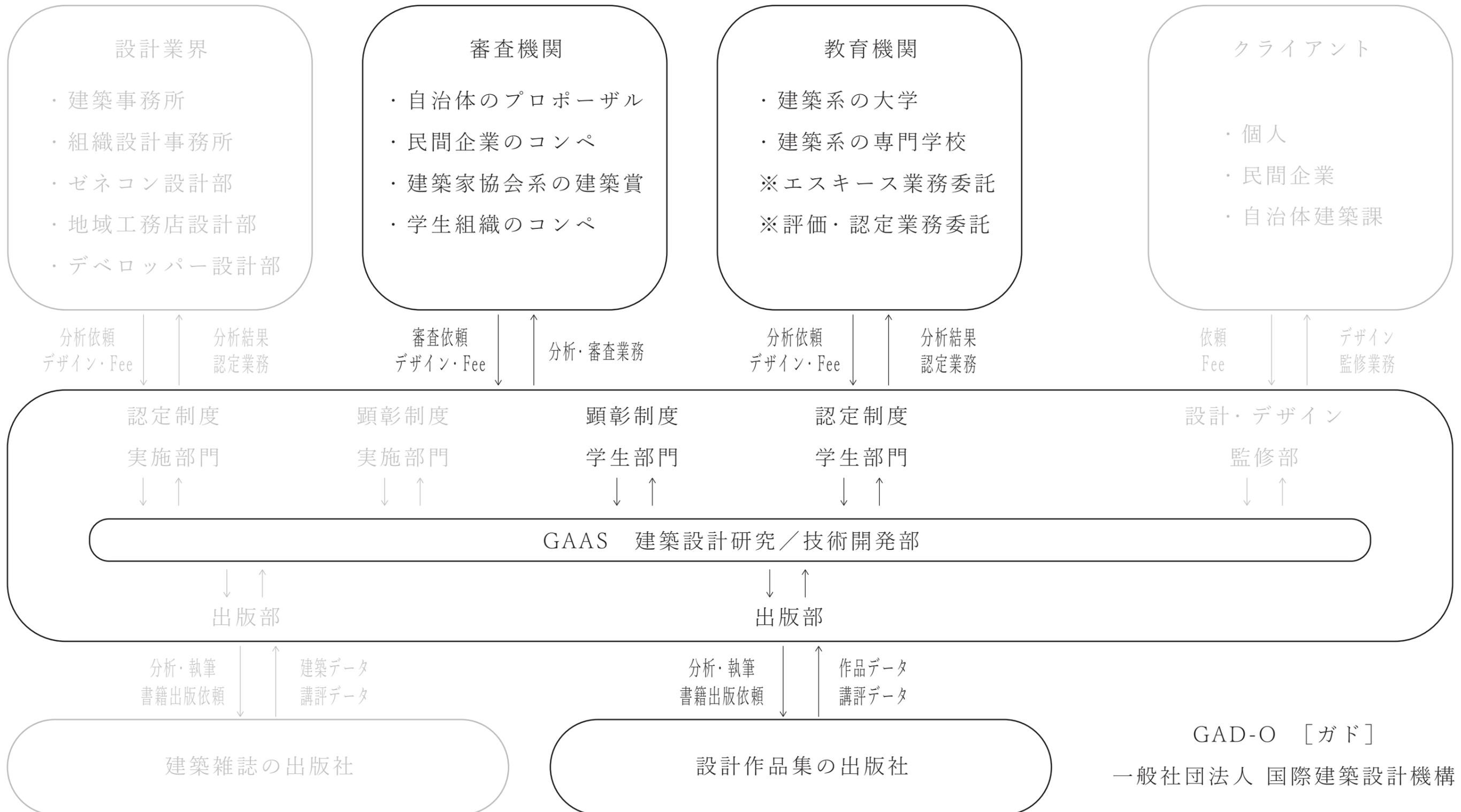


事業形態



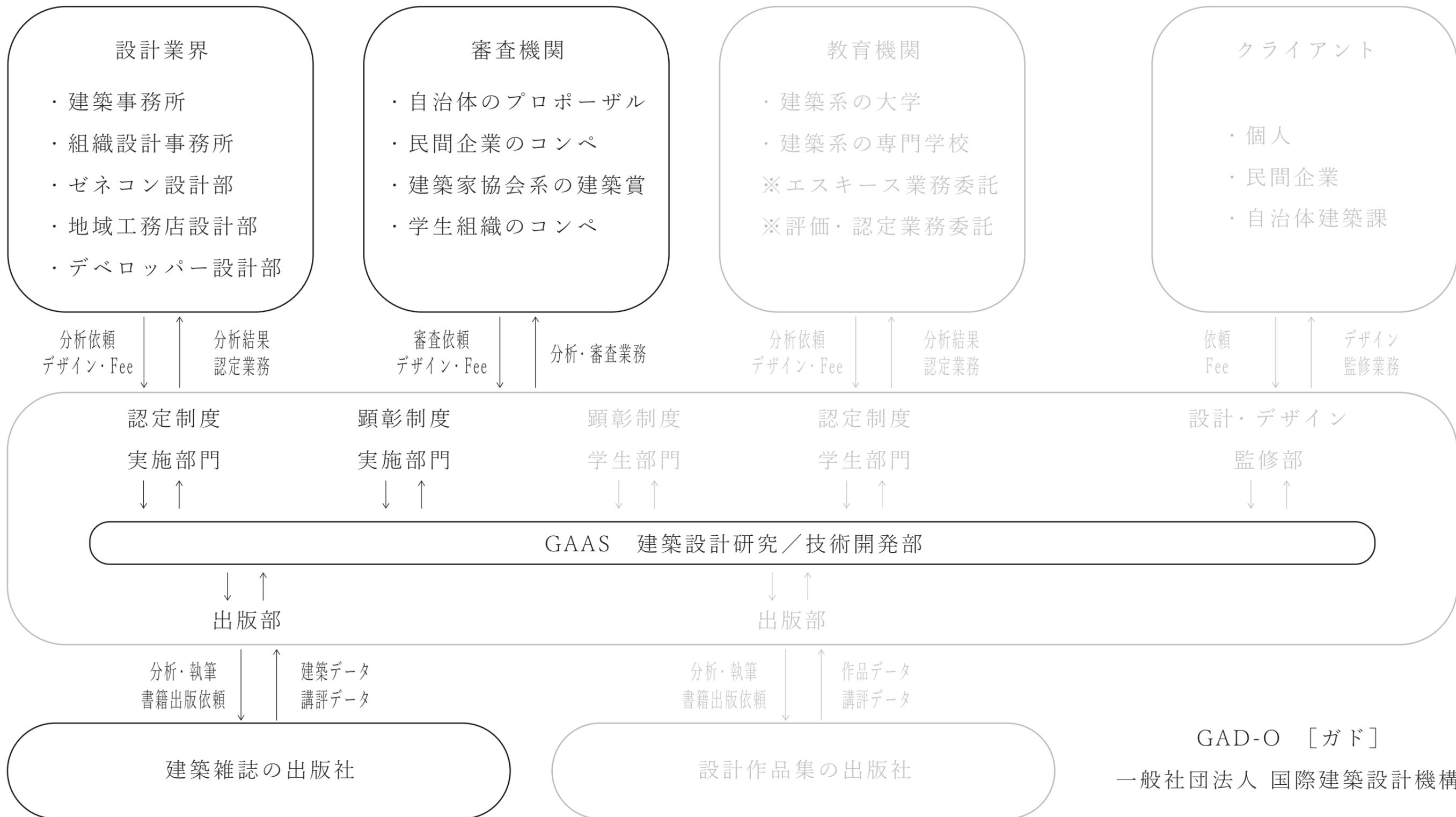
事業スケジュール

2026年～ フェーズ1 学生界限の認定制度及び審査制度で試験運用。試験運用を通じて設計業界に工法ブランディングを行う。



事業スケジュール

2027年～ フェーズ2 設計業界の認定制度及び審査制度の本格運用。 評価・認定を通じて、設計・デザインのブランディングを行う。



事業スケジュール

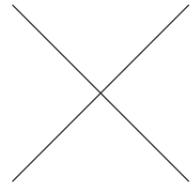
2028年～ フェーズ3 GAD-Oの設計業務を開始。情報社会 AI時代に対応した、次世代の建築家を達成する。





A S I B A

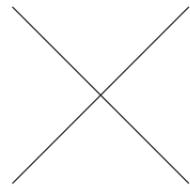
C r e a t i v e L e a g u e



G A D - O [ガ ド]

一 般 社 団 法 人 国 際 建 築 設 計 機 構

ASIBA
Creative League



G A D - O

一般社団法人 国際建築設計機構

お互いに建築を中心としたネットワークを形成するという共通点があることから、GADOとこれまで関わりのある企業、大学、出版社などの方々を交え、建築分野におけるASIBAの活動を共に発展させていければと考えております。

建築に関わる多様な主体をつなぎ、学生や若手クリエイターの活動を支える新しいネットワークを形成していきたいと考えています。

ASIBA Creative Leagueの理念である、既存の「正解」にとらわれず新しい実践を生み出していく場づくりに対して、

GADOとしても事業や活動を共有しながら、建築分野におけるASIBAの活動を共に創造して楽しんでいければと思います。

